

	発言者	発言要旨	骨子作成での対応
＜議事＞ 熊本市文化芸術推進基本計画（素案の方向性）について			
表題			
1	喜久山委員	明日を生きることさえ精一杯な人に、どうやって「アートがライフライン」だと思ってもらうかが課題だろう。 非日常感やときめきを求めて見に行く人もいるから、「日常」と言わない方がいいという意見もありうる。	表紙の副題「～ライフラインとしての文化芸術～」を修正
趣旨			
2	小堀委員	文化芸術を「生きる上で必要なもの＝ライフライン」とまで言い切ってしまうといいのか。本当に生活に困窮している人々からすると、文化芸術は贅沢なものだろうから、反発が来ないかが心配。	・ P3「1 策定の趣旨」で「ライフライン」を削除 ・ 人々が生きる上で心の豊かさは必要なものであると考え、文化芸術も生きる上で必要なもののひとつであるという考え方を表現
3	喜久山委員	ライフラインという言葉についても、少し強く、強制力のあるニュアンス。	「ライフライン」という表現は全体から削除
めざす姿			
4	浪床委員	中心に文化芸術があって、そこから派生する力を示す図があるが、「熊本市のために行動したいと思う」という表現が「最終目標はそこか」と誤解を生む可能性がある	P12「6 （1）めざす姿」のイメージ図の表現を修正
5	喜久山委員	ふるさとを愛せば何か自分ができることをやりたいなと思う。市としてもそういう風になってほしい、ということだと思うが、表現の仕方で誤解を与えるかもしれない。	
基本理念			
6	西島委員	まず「市民のウェルビーイング」が目的だけど、その次にくる都市づくり・ブランド化や観光のことも基本理念に書いた方がいいかもしれない。	P13「6 （2）基本理念」に追記
7	喜久山委員	（再掲） 明日を生きることさえ精一杯な人に、どうやって「アートがライフライン」だと思ってもらうかが課題だろう。 非日常感やときめきを求めて見に行く人もいるから、「日常」と言わない方がいいという意見もありうる。	P13「6 （2）基本理念」の中の「ライフライン」を削除し、表現を修正
8	喜久山委員	熊本地震のときに、アーティストとしては無力感を感じることがあった。文化芸術は、衣食住が足りて、その次に求められるものだった。	「ライフライン」という表現は削除
9	嘉悦委員	被災地で歌を歌って「元気が出た」と言われたことはあるけど、それをライフラインと言っているかどうか。	

	発言者	発言要旨	骨子作成での対応
基本施策			
10	石櫃委員	めざす姿の順番的に「文化芸術に触れることで、心が豊かになり、新たなつながりや価値を生み、生き生きと暮らせる」なので、施策②「文化芸術に触れる場と機会の創出」が1番目にくるといいのでは。	「7基本施策」の施策ⅠとⅡの順番を入れ替え
11	浪床委員	理念の実現のための具体策がイメージできないから話し合いにくい。	P15～23「7 基本施策」の取組・具体案で記載
12	嘉悦委員	メジャーなアーティストやプロのアーティストにフックアップしてもらえると、地元のアマチュアアーティストにも光があたる機会が増えると思う。	P16「7 基本施策Ⅰ 取組2」、P21「7 基本施策Ⅲ 取組3」でアーティストの支援・育成を表記
13	喜久山委員	アーティストは都市・中心に呼ばれるため、地方都市にはいなくなりがち。熊本市外に出ないとやっていけないのが実情。	
14	佐藤委員	策定の背景にもあるように、デジタル化の急速な進歩について、施策の柱の中にもっと入れてもいいのでは。	P16「7 基本施策Ⅰ 取組3」、P17「7 基本施策Ⅱ 取組1」で、デジタル化による取組を記載
15	小堀委員	熊本の独自性は水・地下水。TSMCだって水がきれいだから来る。水とみどりが、熊本の1つの有力なコンテンツになると思うため、水を柱に考えるのもいいと思う。 熊本城はベンチマークなので、それをどう活かすか。今は各地の城はユニークベニユー等をしているので、そういったものを今後取り入れるのはどうか。	P18・19「7 基本施策Ⅱ 取組2、3」で、「水」や「熊本城」また文化財を活用したユニークベニユーを記載
16	小堀委員	民間主導のみずあかりも、観光資源となりうるし独自性があるから生かしていけると思う。	P17・18「7 基本施策Ⅱ 取組2、3」でみずあかりについて記載
17	喜久山委員	熊本駅・サクラマチの再開発などによって人の動きが変わっており、活気が出ていると思う。場が作られることで、文化を膨らますことができる。文化芸術を推進するうえで「場所」は大事である。	P19「7 基本施策Ⅱ 取組3」で記載
18	喜久山委員	「熊本といえば」というイベントをつくり、発信力として戦略的に用いるといいのかもしれない。日常に浸っている文化と、衝撃的なインパクトある文化の2種類があると思う。	P19「7 基本施策Ⅱ 取組3」で、熊本独自のイベント等を記載
19	山下委員	「水」が話題に出てくるのが熊本の宝。 誰もがアクセスできる、公共・オープンな場所を活かすことが大切。 繋ぐ人・マネージャー的存在が足りていない。 ポンチ絵に「外に対して」というのが入ると具体性が出て良さそう。 アートや表現を祭りのように捉えるといいと思う。祭りは準備段階からコミュニティーを形成するし祭り自体にも経済効果があり、アートや表現も同様。プロセスに関する表現があると具体的にになってわかりやすい。	・P16「7 基本施策Ⅰ 取組3」で誰もがアクセスできる「場所」の活用について記載 ・P18「7 基本施策Ⅱ 取組2」P19「7 基本施策Ⅱ 取組3」で「水」「まつり」について記載 ・マネージャー的な存在は文化顧問が担う

	発言者	発言要旨	骨子作成での対応
20	小堀委員	熊本は、邦楽は力を入れていて、比較的育っている方だと思うため、いい面はP Rして支援していくといい。邦楽がマイナーで珍しいものとならないようにしたい。	P21「7 基本施策Ⅲ 取組2」で邦楽祭について記載
21	西島委員	施策③に「学校との連携」とあるが、「学校」に限定しなくてもいいかもしれない。	P20「7 基本施策Ⅲ 取組1」で「小中学校等」という表現に変更
22	西島委員	施策③に「世界を舞台に活躍できる人材」とあり、「世界」となるとハードルは高いが、ぜひ頑張してほしい。県外や世界から来る人が着目する熊本になってほしい。	P21「7 基本施策Ⅲ 取組3」で記載
23	浪床委員	施策③に人材の育成について記載があるが、文化芸術で食べていける人たちを育てることはお金もかかるしとても難しい。ここは特に頑張してほしい。	P21「7 基本施策Ⅲ 取組3」で記載
24	西島委員	担い手について、具体的な活動は誰が担っていくのか。 各区で身近な文化を担っていくこと、外国人・県外の方とどうか関わっていくか、の2点をうまく表現できないものか。市民と自治体だけのものでなく、その外部との関わりもあって進めて行く必要がある。	・各区で身近な文化を担っていく点は、P23「7 基本施策Ⅳ 取組2」で記載 ・外国人との関りについては、P22「7 基本施策Ⅳ 取組1」で記載 ・県外の方との関りは、他都市への情報発信としてP19「7 基本施策Ⅱ 取組3」で記載

	発言者	発言要旨	骨子作成での対応
推進体制			
25	石櫃委員	めざす姿である「市民が身近に文化芸術に親しめるまち」は、市民だけでなく行政や他の人たちが一緒になってつくっていくということが描かれるといい	市民と行政、民間等の役割や推進体制については、P23「8 計画の推進」で記載
26	喜久山委員	行政と社会をつなげる役割の人を養成しないといけないのでは。	熊本市では「暮らしと文化芸術を結びつける」人材として文化顧問を設置し、文化芸術を通じて行政と市民（社会）をつなげる働きを担っているため、P24「8 計画の推進」で記載
27	喜久山委員	古来の文化とこれからの文化を混ぜて融和し、ディレクションする人が必要なのでは。	文化顧問がその役割を担うため、P23「8 計画の推進」で記載
言葉の意味			
28	浪床委員	「ウェルビーイング」という言葉は行政の中では普通かもしれないけど、市民にはわかりにくいかもしれない。言葉遣いには気を配った方がいいと思う。	・P3「1 策定の趣旨」で注釈をつける ・その他適宜言葉の意味について注釈をつける
29	石櫃委員	「包括、包摂」といった言葉が、市民からするとわかりにくい。	P4で「包摂性」の言葉の意味について注釈を追加
全体			
30	嘉悦委員	「我々が日常の中で行っていることには文化芸術が関わっている」ということを1番伝えたいのだろうが、どうやって気づいてもらうのが課題。	本計画を様々な媒体を用い効果的に発信することにより市民に広く知ってもらえるよう努める
31	佐藤委員	いかようにも解釈できる、都合よく使われるような言葉・言い回しをすると危険では。	誤解を生まないような表現にする
32	喜久山委員	一瞬の興行みたいなものまで文化と言っていいのか。	一回限りのイベント等も人々の生活を豊かにするものであり、人々が生み出した文化であると捉える
33	喜久山委員	国が全自治体に基本計画の策定を努力義務としているなら、どこでも同じような計画内容・取組をやっていそうだから、独自性を意識する必要があると思う。	全国的に必要である取組を取り入れつつ、「くまもとの水」や「熊本城」をはじめとする熊本独自の文化を織り交ぜた内容とする
34	狩野委員	理念にはすごく共感している。こどもの遊びも文化の土台をつくるものだと思っていて、生き死にに直接関係するわけではないが、こどもが育っていくうえでは大事かつ身近なものであり、生きるということだと思う。	意見